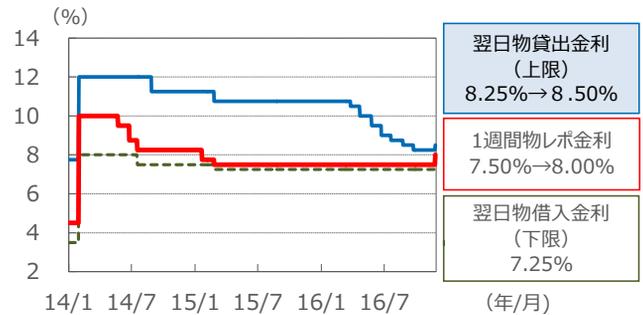


今日のトピック トルコの金融政策（2016年11月） 2年10カ月ぶりの利上げ

ポイント1 政策金利引き上げ 2年10カ月ぶりの利上げ

- トルコ中央銀行（以下、中銀）は24日、主要な政策金利である1週間物レボ金利を7.50%から8.00%に、翌日物貸出金利を8.25%から8.50%に引き上げました。政策金利引き上げは2014年1月以来、2年10カ月ぶりです。
- 中銀は、足元の為替レートの動きはインフレ見通しの悪化要因と指摘し、「インフレ期待や価格設定行動に与えるマイナスの影響を抑えるため、利上げを実施した」と説明しました。

【各種政策金利】



(注) データは2014年1月1日～2016年11月24日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 政府は利上げを容認 追加利上げの可能性

- これまでエルドアン大統領の政治的な圧力から利上げは難しいとの考え方が一般的でした。しかし、トルコ政府が先週緊急の経済調整会議を開いて金融市場動向について議論していることから、今回の利上げは政府との同意の下で行われたと見られます。
- 政府関係者が中長期的な物価安定を以前よりも重視していると考えられ、今後は必要に応じて金融引き締めを容認すると考えられます。このため次回の金融政策決定会合で追加利上げが行われる可能性があります。

【トルコリラ】



(注) データは2014年3月1日～2016年11月24日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 トルコリラは当面下値模索の展開

- 米大統領選挙後、トランプ次期米大統領の政策方針への思惑から米長期金利が上昇し、ドルへの資金回帰に伴い新興国通貨を売る動きが広がるなか、トルコリラは対ドルで過去最安値をつけました。通貨安を防御するため中銀は24日、利上げを実施しましたが、トルコリラは更に最安値を更新しました（24日NY引け値）。ドル高基調のなか、トルコリラは地政学リスクや対外債務の大きさなどが嫌気されており、反転、上昇にはしばらく時間がかかりそうです。

ここも
チェック! 2016年10月25日 トルコは金融政策を据え置き
2016年 9月23日 トルコの金融政策（2016年9月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。